

とっとりバーガーフェスタVol. 1が大賞受賞

第1回鳥取県食のみやこコンテスト

鳥取県が実施した第1回鳥取県食のみやこコンテストで、昨年11月7日、8日に柘水高原で開催された「とっとりバーガーフェスタVol. 1」が大賞を受賞しました。

このコンテストは、「食」に関連し、「美味しい」「楽しい」に着目した新たな取り組みを表彰することで、「食のみやこ鳥取県」を創造する行動のきっかけとなることを目的としています。

審査会は、2月7日に、ホテルセントパレス倉吉で実施され、食のみやこコンテストで既に採択されていた江府町の「貝田大飯喰いフェスティバル」や境港市の「鳥取県境港V鹿兒島県串木野 まぐろラーメン対決!」などの6つの事業が競い合いました。

それらの事業のなかでもバーガーフェスタは、地域おこし事業であり、観光と食の相乗効果が高く、集客力が群を抜いていたこと、鳥取の食の魅力を広く情報発信していく手法として、発展の可能性があること、などが高く評価されました。

このバーガーフェスタの実行委員会が、2月8日、農村環境改善センターで開催され、実行委員長の柄木孝志さんが、この受賞を報告しました。



とっとりバーガーフェスタ実行委員会で、受賞を報告する柄木委員長

柄木委員長は、「受賞は、レベルの高い商品を提供してくれた出店者のおかげ。この賞をきっかけにもっとモチベーションを上げて、今年の秋のバーガーフェスタを成功させたい」、「バーガーで鳥取県を多くの人に広め、認知してもらおうきっかけとなったら」と語っていました。

委員から寄せられた去年の反省点を活かし、新たな企画を加えることで、今年のバーガーフェスタはさらに魅力的なものになりそうです。



環境整備支援(八郷小)



学校行事支援(日光小)

とちり学校支援地域本部

町民みんなで支える学校 みんなで育てる伯耆町の子ども

学校支援地域本部事業がスタートして、1年近くが経過します。

現在、学校支援ボランティアに、2団体と、73名の方に登録していただいています。

登録者の方には、学校の求めに応じて、教育の充実を図るよう支援をしていただいています。

活動状況

- ・ 学習支援活動(書写・ミシンの使い方・調理実習・佐野川用水現地学習・歴史学習) 競争体験の話)
- ・ 環境整備(ペンキ塗り)
- ・ 児童生徒の登下校の安全指導
- ・ 校内行事(陶芸体験・音楽発表会・しめなわづくり)

学校支援ボランティアは、やる気のある方ならどなたでも参加できます。「子どもの教育に協力したい」「先生の力になりたい」「子どもとふれ合いたい」「自分の生きがいになりたい」など、皆さんの思いが学校をよりよい環境にし、子どもたちの成長を促します。そして、地域の絆が強まり、生き生きとした地域づくりにつながっていきます。

伯耆町学校支援地域本部では、随時、ボランティアバンク登録を受け付けています。できる時に、できる事で支援をお願いします。

【問い合わせ先】

教育委員会事務局 総務学事室
☎62-0927



TOWN TOPICS

まちのわだい募集

【問合せ先】
地域再生戦略課
町づくり推進室
☎68-3113

お話に引き込まれて 溝口図書館おはなし会

絵本の読み聞かせを行なうおはなし会が、1月23日、溝口図書館の絵本コーナーで開催されました。

おはなし会は、幼児や小学生とその保護者を対象に、毎月第3土曜日の午後2時から行なわれています。読み聞かせのほかにも、参加者の年齢層にあわせて、本を見ないで昔話のように物語を語るストーリーテリングも行なわれています。

読み聞かせをしてくださるのは、芦屋市や宝塚市の図書館で活躍する図書館司書の里藤知子さん。いつも子どもたちの反応を見ながら、ゆったりとしたリズムで絵本の世界にいざないます。この日は、2組の親子が参加し、子どもたちはすぐに物語の中に引き込まれ、怖がったり、喜んで飛び上がったり、表情豊かに聞き入っていました。



「三びきやぎのがらがらどん」(マーシャ・ブラウン絵/瀬田貞二訳)の絵本の読み聞かせを楽しむ参加者たち

お互いに感動・そして感謝 学校と地域の縁結びフォーラム

伯耆町学校支援地域本部は、2月14日、溝口公民館大会議室で「学校と地域の縁結びフォーラム」を開催しました。

学校支援地域本部は、子どもたちや学校の応援団として、教育環境の整備支援と教育活動の支援を行なうためのボランティアバンクを運営しています。フォーラムでは、今年度実施したボランティア活動の事業成果などを報告しました。



学校支援ボランティアを行なった内容や、その時の気持ちを発表する実践者たち

まず、地域コーディネーターの福田明真さんが、今年度の活動状況を報告した後、日光小学校と岸本小学校の児童が、それぞれ活動報告を行い、学校支援ボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えました。

次に、学校支援地域本部実行委員会委員長の大下修一さんからのインタビューという形で、ボランティアの立場から実践を報告しました。実践者として報告したのは、松本俊明さん、松尾東志子さん、加藤士郎さんの3人。「地域で子どもたちを見守り、学校と協力することが大切」、「教えるために勉強するのが楽しく、子どもたちの反応がとても温かく感動している」、「学校教育に関わることでパワーアップし、生きがいとなっている」と、学校支援ボランティア活動により、地域も子どもたちもお互いに感謝しあえる関係ができつつあるようです。

おいしくできたよ 溝口保育所 仲良しクッキング

年長児たちがみんなで料理をする仲良しクッキングが、2月9日、溝口保育所のホールで実施されました。

仲良しクッキングは、自らの食について考える習慣や、食に関する様々な知識と、食を選択する判断力を楽しく身につけるための、「食育」の一環として実施されているものです。去年の春から年長児たちは、いちごジュースやよもぎもち、ちまきなどを作ったり、朝ごはんの大切さを勉強してきました。

この日は、ホットプレートでチキンナゲットやウィンナーを焼いたり、焼きそばを作ったり、みかんゼリーを使ったデザートを作りました。

最初はおそろおそろ調理していた児童たちも、少しずつ慣れて、調理を楽しんでいました



「仲良くみんなで焼きそばをつくる年長児たち」